

オムロンフィールド エンジニアリング(東京都目黒区)は、エネルギーの合理化や脱炭素化を実現する各種ソリューションを工場やさまざまな施設に提供している。エネルギー診断から設計、施工、維持管理まで顧客の課題にワンストップで対応する。近年需要が高まる工場の排熱活用などの熱ソリューションにも力を入れていく。設備の効率化を図る「省エネ」、再生可能エネルギーを活用する「創エネ」、蓄電・蓄熱を提案する「蓄エネ」の三つを組み合わせた課題解決が強み。エネルギー診断により現状を把握し、顧客とともに中長期計画を立てる「創エネ」、蓄電・蓄熱を提案する「蓄エネ」の三つを組み合わせた課題解決が強み。



オムロンフィールド
エンジニアリング

エネルギーソリューション

排熱活用効果「見える化」



ど予算確保も支援。多し、空調や照明、蓄電など幅広い選択肢の中から最適な設備を提案できる。事業所単位だけでなく、地域一帯のエネルギー課題解決にも取り組む。京都府宮津市では2017年、地元企業と共同した実績があるが、今後環境ラボでエネルギー需給状況をシミュレーションする

で、元は農地だった遊休地6カ所に太陽光発電所を開設。近隣住宅への鳥獣被害の低減や景観の改善、エネルギーの地産地消につながる。最近ではヒートポンプ技術などを活用した熱エネルギーのソリューションに注力。同社はこれまで病院など民生系の施設にヒートポンプ活用の設備を導入し、環境ラボでエネルギー需給状況をシミュレーションする

は産業向けにも取り組む方針。エネルギーマネジメント事業本部EM商品部EM商品2課の佐々木崇担当マネージャーは「これからは工場での排熱の活用が重要なテーマとなっていく」としている。同社はエネルギー利用率を最大化する最適な提案を行うため、各種商材を実証する場を設けている。実証施設「ヒューテック環境ラボ」(浜松市北区)では工場や施設などの設備構成を再現している。最新システムを導入した場合のエネルギー需給状況をシミュレーションし、効果を「見える化」する。同ラボにも、19年度以降ヒートポンプ技術を活用した設備を導入、電気と熱のエネルギー合理化の実証を検討している。今後普及の可能性がある最新システムを検証し、いち早く現場への導入につなげる。(南東京・増田晴香)

【事業所概要】▽所在地 東京都目黒区三田1-6の21、03・6451・0494
▽主要事業 各種システムのエンジニアリング、保守サービス